

### 第3回 杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第3回杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和2年9月4日（金）午後2時00分～3時29分
場 所	井草地域区民センター 第1・第2集会室
出 席 者	懇談会委員19名（欠席5名）
傍 聴 者	0名
次 第	1 開会 2 第1回懇談会の主な意見等について 3 改築基本方針（たたき台）について 4 中学校の標準建物面積、生徒数・学級数の推計 5 校舎配置について 6 閉会
資 料	資料1-1 第1回懇談会の主な意見等 資料1-2 第2回懇談会（視察の意見交換会）の意見等 資料2-1 改築基本方針（たたき台 比較表） 資料2-2 改築基本方針（たたき台 修正案） 資料3-1 中学校の標準建物面積について 資料3-2 中瀬中学校の生徒数・学級数の推計 資料4 校舎配置ごとの特徴と課題について 参考資料 杉並区人口ビジョン（抜粋）

進行役	<p>それでは、まだお見えでない方もいらっしゃいますが時間となりましたので、中瀬中学校校舎改築検討懇談会を開始いたします。</p> <p>今日は暑い中参加していただきまして、本当にありがとうございました。2名の委員から欠席の連絡が入っております。</p> <p>本日は1時間30分をめどに進行できればと思います。ご協力をよろしく願います。</p> <p>それでは、事務局から配付資料の確認をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>事前に送付しました資料になります。次第と資料1-1「第1回懇談会の主な意見等」です。</p> <p>資料2-1、A3になりますが「改築基本方針（たたき台 比較表）」。資料</p>

	<p>2-2「改築基本方針（たたき台 修正案）」になっております。</p> <p>資料3-1が「中学校の標準建物面積について」、資料3-2「中瀬中学校の生徒数・学級数の推計」、参考資料としまして「杉並区人口ビジョン（抜粋）」を添付しております。</p> <p>資料4「校舎配置ごとの特徴と課題について」というA3を添付しております。</p> <p>また、本日席上配付しました資料になりますが、右上に「当日配付資料」としてクリップ留めをしております。資料1-2が「第2回懇談会（視察の意見交換会）の意見等」となります。それ以外に松溪中、井草中の校舎ボリューム比較図面。もう1つは中瀬中の校舎ボリュームイメージで、南東からと北西からの2枚をホチキス留めした資料になります。</p> <p>不足がある方がいらっしゃいましたら、挙手をいただけますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、続きをお願いいたします。</p>
進行役	<p>それでは、次第の2「第1回懇談会における主な意見等について」。事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料1-1を御覧ください。こちらは、改築基本方針のビジョンに関連するごとに分けています。</p> <p>まずはビジョン1に関連する部分で、1では教育の質や先生の生活、生徒たちの生活などを見据えた空間計画を、というご意見がございました。</p> <p>2と3で、80年程度使う校舎になりますので維持管理のしやすい校舎にしてほしいということや、今後フレキシブルに対応できる校舎にしてほしいというご意見がございました。</p> <p>4では、図書館が中心となってラーニングセンターの役割を果たしてほしいということや、5のICT環境がどんどん変化するので、それに対応できるようにしてほしいというご意見がございました。</p> <p>また6で、コストだけではなく生徒の学習・生活空間である学校施設を考えて計画してほしいというご意見、7で部活動が盛んなので、体育館で多様な運動ができるようにというご意見がございました。</p> <p>8では、教員にとっても子どもたちにとっても使い勝手のよい校舎にというご意見がございました。</p> <p>次にビジョン2に関連する部分で、1で省エネルギーや自然エネルギーなどのサステナブルへの配慮。2でコミュニティスクールとして地域に開かれた学校。3のユニバーサルデザインやインクルーシブへの配慮というご意見がございました。</p> <p>ビジョン2と3に関連する部分で、現在の新型コロナの状況も踏まえて、感染症の対策といったご意見もございました。</p> <p>また、その他に記載しましたが校舎配置に関わる部分、1で近隣のことも考えて計画してほしいというご意見。2で建物だけではなく、校庭も見据えて</p>

	<p>考えてほしいというご意見がございました。</p> <p>続きまして、本日配付しました資料1-2をご覧ください。第2回施設見学会後の意見交換会のご意見をご紹介します。</p> <p>校舎全体の印象などについて、1から3で木造部分や採光、廊下の取り方などでぬくもりや開放感を感じて、子どもたちにとって居心地がいい印象というご意見でした。</p> <p>また4では逆に、開放的で生徒たちの気が散るのではないかとというご意見もございました。5では、松溪中はうまく風が吹き抜けていたが、井草中は十分風が通るようになっていないということで、自然の力が生きる計画にしてほしいというご意見がございました。</p> <p>6では、オープンスペースがここまで広いのは難しいかもしれないが、部分的に取り入れられるところは取り入れてほしいというご意見がございました。</p> <p>次に、しつらえについて。1で、安全面がいろいろと配慮されているというご意見でした。2で、屋上緑地やウッドデッキ、テラスといったものが生かされていないので、計画時に生かせるように考えてほしいというご意見でした。</p> <p>配置に関わる部分では、1と2でオープンスペースなど、ほかのクラスの生徒とも交流できる場所があるとよいということ。また、いろいろな場所に造るのではなく、生徒たちが集まる場所に造るとよいというご意見でした。</p> <p>3で、井草中のように職員室の前に図書室を置いて、ラーニングスペースなど自然に集まって来るようにできるといいというご意見でした。</p> <p>4で、ビオトープは子どもたちが出やすい場所で、みんなが関われる場所がよいというご意見でした。</p> <p>5は、校長室と職員室の関係で、隣接しているのがよいというご意見でした。</p> <p>その他として、1で松溪中は校舎の配置が旧校舎と新校舎で変わったということで、近隣にどういう説明をしたのかというご質問でした。当時の担当に確認しまして、植栽や防球ネットなど近隣の方のご要望も踏まえながら対応を行ったということでした。</p> <p>2で、井草中、松溪中の図面を中瀬中の敷地に置いてみると、広さのイメージが湧くというご意見を頂きました。</p> <p>本日席上配付しました図面を御覧ください。実際の方角と合わせて置いています。松溪中も井草中も敷地面積が14,000㎡程度で、中瀬中学校の敷地よりも広がっています。その中で、特に井草中については延床面積が10,000㎡を超えています。これを中瀬中の敷地に置くと校庭がほとんど取れないということが分かると思います。</p> <p>以上が、第1回懇談会と第2回懇談会の意見交換会の主な意見のご紹介になります。よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>次第2の内容は次の議事と関係します。引き続き次第3、改築基本方針の議題について事務局から説明をお願いいたします。</p>

<p>学校整備課長</p>	<p>私、学校整備課長から改築基本方針についてご説明いたします。資料は2-1、その後2-2も使いますのでご用意ください。2-1はA3の縦長になっているものでございます。</p> <p>改築基本方針につきましては、第1回のときにたたき台ということで事務局からお示ししました。その際に委員の皆様からその場でご意見を頂き、ご感想シート、そのほかに資料など、いろいろとご意見を頂いたところでございます。</p> <p>皆様から頂いたそれらのご意見を踏まえまして、今回たたき台に追記を行いました。校長先生にも再度ご確認を頂きまして、修正案を作成しましたので、ご説明いたします。分かりやすいのは資料2-1になりますので、こちらで説明いたします。</p> <p>今回ご意見を頂いた部分で追記したところを、赤字で書いております。</p> <p>まずビジョン1、目標Ⅰの取組Cです。行事や部活動だけではなく、生徒の生活空間にも配慮してほしいというご意見がございましたので、こちらを取組Cの中に加えています。</p> <p>それから目標Ⅱの取組Eです。80年という長期的な利用の中でも、施設の維持管理のしやすさは非常に大事というご意見がございましたので、こちらの視点を加えております。</p> <p>その下、目標Ⅲを新たに加えて、生徒だけではなく教職員や学校関係者などが活動しやすい学校づくりということで、こちらの視点を取組F、取組Gで、Fは授業の準備、それから授業、生徒指導などがしやすく、教職員の活発な交流、生活空間に配慮した施設計画。取組Gは主に学校関係者の方々、PTAの方をはじめ、学校支援本部、学校運営や教育を支える支援者の活動に配慮した施設計画ということで、こちらの視点を加えております。</p> <p>続きましてビジョン2、この後の目標は1つずつ番号が繰り下がっております。目標Ⅳは今まで2つだった取組にもう1つ加えて取組Jとしまして、省エネルギー、自然エネルギーなどのサステイナブルの視点というご意見がございましたので、こちらを追記してございます。</p> <p>このページの一番下、先ほどもコロナ禍というのがありましたので、取組Lに換気機能、手洗い設備などを初め衛生面にもきちんと配慮した施設ということで、こちらを追記しております。</p> <p>裏面にビジョン3の記載がありますが、こちらは文言を一部修正して、大きな追記はございません。</p> <p>これらを前回と同じ1枚の「改築基本方針（たたき台 修正案）」としてまとめたものが資料2-2です。</p> <p>改築基本方針の案の修正については、以上でございます。</p>
<p>進行役</p>	<p>事務局から改築基本方針の修正案の説明がありました。第1回の意見などを踏まえて取り入れられたもの、あるいは反映して修正案をとということで出てきています。</p> <p>次回の懇談会で基本方針を最終的にまとめる予定になってはいますが、何かご</p>

	意見はよろしいですか。
委員	<p>皆さんの意見を取り入れていただいて、とてもいいものになっていると思います。</p> <p>前にも廃棄までを考えるとということを入れていただければと提案しましたが、SDGs、持続可能な開発のためのグローバルスタンダードというところで、廃棄まで考えた建物となると、もし皆さんが賛同してくださるなら、廃棄まで考えた、と入れると格好いいと思いました。</p>
進行役	<p>ほかにかがですか。よろしいですか。</p> <p>では、次の議事に移ります。次第4「中学校の標準建物面積、生徒数・学級数の推計」について事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、資料3-1「中学校の標準建物面積について」をご覧ください。</p> <p>こちらは、平成26年5月に杉並区で公表しました「杉並区立小中学校老朽改築計画（第1次改築計画）」の中に載せております、中学校の標準建物面積を抜粋したものです。こちらは、区立学校ですので区内の学校施設の規模を標準化する必要があり、近年改築した学校施設の面積が大きくなっている状況から、改築の際の標準規模を示しております。</p> <p>記載のとおり、中学校で12学級規模を想定した場合に7,800㎡程度と示しております。この計画は平成26年5月のものですが、施設規模が大きくなれば建設費や維持管理費なども増加いたしますので、今後も改築規模の一定のスリム化が求められております。</p> <p>続きまして資料3-2をご覧ください。中瀬中学校の生徒数・学級数の推移と推計になります。過去10年間における中瀬中学校の生徒数の推移と、令和3年度以降10年間の生徒数の推計を示しております。</p> <p>実線部分が過去10年の実績、点線部分が今後10年の推計になります。推計につきましては、学区内の入学前人口をもとに、転入・転出や指定校変更、国立・私立就学者などを考慮し、今後10年間で教育委員会で推計したものになっております。ご覧のとおり、今後12学級前後で推移していくものと想定されております。</p> <p>この後校舎の配置についてご説明いたしますが、中瀬中学校については杉並区の標準建物面積を前提に、12学級前後の学級数が運営できる規模で検討を行ってまいります。</p> <p>また、参考資料として杉並区人口ビジョンの抜粋を配付いたしました。こちらは平成30年1月1日時点の杉並区の人口を基準とした区の人口推計になっております。出生率や転入数から全部で4パターンございます。</p> <p>CASE1の場合、丸で囲んでいますが14歳以下の年少人口のピークが2025年（令和7年）、全体の人口ピークが2035年となっております。</p> <p>CASE2の場合、合計出生率が1.38ということもございまして、年少人口のピークが2045年、全体の人口は2035年がピークとなっております。</p> <p>2枚目の裏に行っていただきまして、CASE3の場合、2025年が年少人口</p>

	<p>及び全体の人口もピークとなっております。</p> <p>CASE 4についても同様に、2025年が年少人口及び全体の人口もピークとなっております。</p> <p>次第4については以上になります。</p>
進行役	<p>松溪中も井草中も多分生徒数の見込みを出して、松溪中は本来はもっと少ないはずが、きれいな校舎になってたくさん来てしまったという状況があるのではないかと思います。井草中も、予想よりも大きいので、その辺は見込まなくても大丈夫ですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>この推計だと12学級となっていて、推計自体は新校舎になった場合の指数までは含まれているものではございませんが、今は12学級と推計されていますので、それより増えた場合でも対応できるという教室数、普通教室の転用も含めて、検討していきたいと考えております。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p>
委員	<p>青少年委員の立場で参加していますが、学校支援本部で学校図書館支援をお手伝いしていて、昨日司書の先生とお話ししたときに広さの問題が出ていたので、範囲としては図書室は特別教室・準備室の中に含まれるのでしょうか。</p> <p>12学級で考えた場合、司書の先生によりますと最低1万2,000冊程度の本が設置できることが条件になっているということなので、今の中瀬中図書室の棚の数では全然足りないの、そこを重視してぜひ組み込んでいただければいいかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ほかに何か。</p>
委員	<p>今の中瀬中で12学級程度という、各学年4クラスぐらいという想定で作る形になると思います。</p> <p>教室転用で増えた場合という話もありましたが、昔ある中学校を建て直したときに想定があったのですが、当時は希望制度があったのでどんどん増えて、結局普通教室が足りなくなって特別教室を転用していた学校もありました。</p> <p>今、希望制度は基本のごく一部となっているので、きちんと推計してくればいいのですが、昔と状況が変わっているのは、中学校の場合少人数授業という形の、1つのクラスを2つや3つに分けて授業する形が今の文科省の方針である程度出ています。教室だけ広さがある、生徒1クラスの人数が入る教室だけが幾つかあっても、そこを分解して授業をする形があるので、幾つか余裕の教室がないと、結局学習室という名前ではかに教室を造るのですが、クラスが増えるとそれを潰していくことになるので、少人数授業ができなくなる。</p> <p>私、西宮中のときに、生徒数の関係で時間割を作っても入れる教室がなかったので少人数ができませんでした。ある程度の広さがあつて余裕があればいいのですが、広さの関係もあつて最大限できるわけではありません。通常学級のクラスだけを考えるとボリュームを作ると、開いたときに結局時間割が組めない</p>

	状況が出てくる可能性があるので、その辺も考慮していただきたいと思います。
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、続きまして次第5「校舎配置について」。事務局から説明をお願いします。</p>
営繕課主査	<p>営繕課からご説明させていただきます。資料4をご覧ください。</p> <p>校舎配置の検討状況についてご説明いたします。現在の中瀬中学校は北西側に校舎があり、南東側に校庭がある配置になっております。</p> <p>改築の検討に当たりましては校庭の広さ、形状、日照状況や校舎の形状と教室の使いやすさ、周辺環境への影響、改築期間中の学校運営、生徒への影響、工期、コスト等を考慮し、様々な配置計画の検討を進めております。本日は、その最初の途中経過をご説明いたします。</p> <p>配置計画の最初の検討状況としましては、校庭の位置をおおむね東西南北に配置し、建築可能な建物の大きさと校庭の形状について検討しているところで、本日お示しする建物の大きさについては、このぐらいの大きさであれば必要な各教室が入るだろうということで検討しています。</p> <p>左下に書いていますように、具体的な仮設校舎の期間や日影の状況、間取り等につきましては次回以降に検討してお示しすることとなりますが、現在検討中の4つのパターンの特徴と課題について資料をまとめてまいりました。</p> <p>また、事前に配付しました資料4の補足資料としまして、本日席上に追加資料としてAからDの校舎配置についてのボリュームイメージをお配りしました。南東面から見たAからD、北西面から見たAからDということで、資料をお配りさせていただきました。</p> <p>既存の校舎につきましては周辺の建物とともに、先ほどご紹介しましたが模型を作ってまいりましたので、必要に応じてご覧いただければと思います。</p> <p>引き続き、設計事務所より資料4についてご説明をさせていただきたいと思っております。</p>
設計会社	<p>それではご説明します。私は、設計事務所のアール・アイ・エーと申します。よろしく申し上げます。</p> <p>校庭の位置ごとの校舎配置について、その特徴と課題をお手元の資料にまとめました。今画面に映しているものはお手元の資料と全く同じものですので、ご覧になっていただければ分かると思います。</p> <p>各計画のご説明の前に、まず現状の既存校舎について特徴を確認いたします。上段左に、既存校舎について載せております。既存校舎は延べ面積が約7,000㎡、校庭面積が約4,900㎡となります。</p> <p>校庭面積とは、図中の茶色い部分で示している範囲について4,900㎡という面積を示しております。校庭の面積はそれなりにありますが、150mトラックを入れてみると、周囲に余裕のない部分が見受けられます。ただし、南側に校庭があることで日当たりが良好で、午後は隅の一部に日影が生じる状況になっております。</p>

既存校舎については随時建替え・増築を繰り返していますが、建設当時には建築基準法の日影規制の法律がなかったために、現状は大幅な既存不適格という建物になっております。直近では給食室を増築していますが、そのときは特例の許可を受けておりました、建設可能となっております。現行では、北側への近隣の日影の影響が大きいという状況になります。今回、改築する場合は、日影規制に適合した校舎の規模で計画する必要があります。

次にA B C Dと説明していきますが、各パターンを説明する前に共通の設計と条件をご説明いたします。

校庭は現在と同じ高さで計画して、150mトラックが収まる大きさ、及び形状といたします。

校舎は、普通教室数が現在の12教室から15教室に増えることとし、現在と比べて延べ床面積が約1,000㎡程度大きくなる想定としております。

体育館については、校舎と一体で計画いたします。プールは、校舎または体育館の上部に重層化して、校庭が広がるよう計画いたします。

先ほど申しましたが、北側の周辺に発生する日影については、現行の日影規制の範囲内で検討いたします。

新たな校門の周辺には歩道状空地を設けます。今はこの赤三角が既存の門の位置となり、暫定的に新しい案でも赤三角で門を示しておりますが、ピンクの部分が歩道状空地として考えている範囲となります。

敷地の東側にある高射砲台の跡地は、現段階では全て残す計画としております。

既存樹木については、やむを得ないものは伐採しますが、可能な限り残置する。もしくは、除去するかどうかについても今後検討いたします。

では、Aから説明いたします。手元の資料の上段真ん中にあるA、校庭が南側配置の場合についてご説明いたします。

延べ面積が約8,100㎡、校庭面積が約4,600㎡という計画になります。この校舎は、先ほど申しました日影規制のために既存校舎よりも高さが抑えられています。その分、校庭側に校舎が広がった配置となります。

校庭の広さは、既存よりも300㎡程度小さくなる可能性がございます。

周辺への環境変化については、既存校舎と校庭と同等の位置にあるために、周辺への環境変化は少ない計画となります。ただし、新設校舎の位置が既存校舎の位置とほぼ重なってしまうため、工事の最初に仮設校舎を設けることが必要となります。仮設校舎の規模も大きくなることから、全体の工事期間についても長くなることが想定されます。

今後の検討にもよりますが、仮設期間中の仮設体育館については、現在の体育館よりもスペース的に小さくなってしまふことが想定されます。

以上が、Aの特徴・課題になります。

次に上段右側のB、校庭を東側に配置する場合でございます。

延べ面積としては約8,300㎡、校庭面積としては約5,100㎡となります。こ



れについては、校庭は現在よりも大きく確保でき、150mトラックの周辺も余裕のある形状となります。

校庭の西側に校舎があるため、午後は校庭の一部に日影が生じる計画となります。

校庭が現在とは違って、北側と東側に面してしまいますので、現在の周辺環境と変化が生じる計画となります。

既存校舎が北側に寄っていますが、既存校舎と新設校舎が半分ほど重なってしまいますので、仮設校舎の設置が必要となりますが、既存校舎の給食室あたりについては工事中に利用できる可能性はあります。

仮設体育館の大きさは、先ほど説明したAと同様に小さくなるのが想定されます。

以上がBです。

次に下段の中央にあるC、校庭を北側に持ってきた場合でございます。延べ面積としては8,200 m<sup>2</sup>、校庭面積としては約5,100 m<sup>2</sup>となります。

校庭の広さについては現状と同規模程度となり、ある意味整形な、まとまった校庭の形が取れる計画になります。

校舎の北側に校庭がある形のため、午前・午後どちらとも一部日影は生じます。冬場は、校舎に近いエリアに終日日影、一日中日影が落ちることが多少あるということもあります。

周辺環境としては、校庭が今とは違って北、西、一部東に面しているため、現在の周辺環境とは変化が生まれます。ただし、この校舎は新設校舎の位置が既存校舎と重ならないために、仮設校舎の設置が不要となります。そのため、全体の工事期間が最も短くなる想定がされます。

また既存の体育館についても、新設校舎の工事中もそのまま使えるため、工事中の運動場確保の点でも大きく貢献できます。

以上がCです。

最後にDです。下段右側にDが載っておりますが、校庭を西側に配置する場合でございます。

延べ面積が約8,200 m<sup>2</sup>、校庭面積が約5,100 m<sup>2</sup>になります。校庭については現状よりも大きく確保でき、比較的整形な形状となります。校庭の東側に校舎という関係性のために、午前中は一部校庭に日影が落ちる計画となります。

周辺環境としては現状と違って北側と西側に校庭が面しているため、現在の周辺環境とは変化が生まれることとなります。

仮設校舎ですが、新設校舎と既存校舎の位置が重ならないために仮設校舎の設置は不要となります。ただし体育館が既存校舎の一部と重なっているため、初めに新設校舎を造って既存校舎の解体が終わった後に新しく体育館を建設するという、2期の工事となる可能性があります。これについては幾つか配置を検討していく中で、1期で収まるように計画することも可能だと思います。

最後に左下にあります今後の検討項目です。

	<p>今回お示ししたAからDについては、今後次のような項目を踏まえて、さらなる検討を重ねて改良を加えた案を提示していく予定です。</p> <p>① 校庭の広さ・形状・日照状況について  ② 教室等の校舎の使いやすさについて  ③ 周辺への影響について  ④ 仮設校舎の規模・期間について  ⑤ 工事期間について</p> <p>その他としては、概算の事業費なども検討が必要な点と考えております。  資料の説明は以上となります。</p> <p>今日配付した資料に、A B C Dの北西側と南東側のボリュームがどのように見えるかというものをCGで作ってきました。今日お配りしたパース、CGについては、少し検討が進んでいる状況で、先ほどの配置図と整合が取れているわけではありません。いろいろな形状を考えながらやっています。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の皆様からただいまの説明についての感想などを頂きたいと思えます。</p> <p>確認ですが、AからDまでのどの案でも、校舎の西側と北側の擁壁はそのままですね。擁壁は崩さないで、そのまま置いておくという案でしょうか。</p>
営繕課施設整備 担当課長	<p>擁壁につきましては、既存の状況等やグラウンドや校舎の整備、解体等の計画をふまえて、これから解体するかどうかは検討していきたいと思いますが、築数十年たっている擁壁でございますので、これを残すべきかどうかは区でも改めて考えたいと思っています。</p>
進行役	<p>皆さん、いかがでしょうか。何かご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>歩道状空地とは子どもたちが歩いていくためというか、構内に通行のための用地が必要だということですね。歩道状空地を造る場合、南側に緑がありますが、その樹木は残して造れるのか、切らなければいけない想定なのかをお聞きしたいのが1つ。</p> <p>もう1つはAの場合でお聞きしたいのですが、管理部門や特別教室、図書室などはこの案だとどこに入れる想定で考えていらっしゃるのかを教えてください。</p>
営繕課施設整備 担当課長	<p>歩道状空地とは、基本的に大規模な建物を造るときにまちづくり条例というものがございまして、それにのっとって造るものでございます。歩道状空地は生徒だけではなく、近隣の方一般に開放されているところですので、一般の方も通行できる、まさに歩道状の空地となります。</p> <p>早稲田通り側については、歩道状空地を造る必要性は必ずしもありませんが、早稲田通り沿いの歩道がそんなに広くないと、バス停がございますので、あの辺は広いほうが一般の方も生徒も、安全性が高まるかなということで、今のA B C Dについてはそれぞれ歩道状空地を設けております。</p>

	<p>この辺の緑で残している木々ですが、測量等も行っており、樹木の状況等もあるので、残すかどうかはこれから検討になります。今、グラウンドを東西南北に配置しておりますが、もし校舎や屋外の倉庫などの配置が具体的になってくると、やむを得ず当たってしまって切らなければいけないものも出てきます。また健全な木であって、支障がなければ残すという判断もできますので、この辺はおいおいかなというところでございます。</p> <p>中の間取りについては、まさにブロックプランという形で、今回の想定規模でグリッドを入れていくと、大体このくらいで入るだろうという形で考えていますので、教室の間取りは次回以降の検討になると思います。</p> <p>例えば、Aであれば普通教室は大体南を向くのかなというところはあると思いますが、BやCはどちらに教室を向けるかというのは、今後の中身のプランニングのことですので、次回以降にお示しさせていただければと思います。</p>
委員	平面計画は分かりますが、ボリュームとしては新築校舎のところにいらっしゃいますか。
営繕課施設整備担当課長	そうですね。
学校整備課長	1つだけ補足で、今の説明の中でも、案という形で入れているところがありますが、今日はこのタイトルにもありますように、まず校舎を東西南北に置いたときにどんなふうになるかということ、どういう特徴があるかと、置いた場合どういう課題があるかということを共通認識としていただきたいと思っていますので、これがそのままA案、B案というものではございませんので、そのところだけお含みいただければと思います。具体的に案を出していくのは今後ということになりますので、お含みおきください。以上です。
進行役	いかがですか。 ご覧になってお気づきになられたことなどありましたらお願いいたします。
委員	よく分かりませんが、専門の方がやられていることですから間違いはないと思いますので、この中で一番いい案がありましたら、それを選択すればよろしいのではないかと思います。
進行役	1人1人ご意見を頂戴したいということで。
委員	見た目で感じたのは、私はCとDはすばらしいプランだと思います。仮設教室を造る場合、仮設工事の開始から本建築終了までの期間の計画は、大体できていますか。あと、その他費用的なもの、仮設教室を造った場合、C、Dでやった場合はどのくらい費用が抑えられるとか、費用的な面と期間の問題を、説明していただける範囲で結構なので、お願いいたします。
営繕課施設整備担当課長	仮設や工事の全体的な話ですが、仮設の校舎を造るとなると、案によっては体育館を造らなければならないとか、案によっては設備関係でコストがかかる給食室を仮設で造らなければならないということで、一概に幾らと言うことはできませんが、次回以降に仮設の費用等もお示しできればと思います。恐らく

	<p>数億円ぐらいはかかる形でございます。それは、今後試算してみてもという形になります。</p> <p>工事期間につきましては桃二小などもそうですが、校舎を造るのに20カ月から2年ぐらいかと考えておりますが、そのほか既存の校舎を解体するのに約半年以上、グラウンドを整備するのも数カ月かかります。高円寺学園で言えば4～5カ月かかっておりますので、全体とすると工事が始まって約3年前後になってくるかなと思います。</p> <p>その辺につきましては次回以降表などでまとめて、分かりやすくお示しさせていただきますだけだと思います。</p>
委員	<p>初歩的な質問で恐縮です。ここに周辺環境の変化と書いていますが、これは主にどのようなことが考えられますか。現在の建物から見ると、環境変化というのは考えにくいと思っています。</p> <p>それともう1点、工事期間がAだと全体の工事が長くなります。Cだと短くなります。この期間はどのくらいになりますか。</p>
学校整備課長	<p>前半の環境の変化の意味についてですが、例えばAと書かれているものと北側に校舎を配置しており、今の校舎と同じ形ですので、日影などは北側の家からすれば目の前に校舎がある状況になりますので、大きな環境の変化はないということになりますが、Bですと西側に校舎が建ちますので、北側の家でも東寄りのところは今まで目の前に校舎があったものが、校庭が目の前に建つという形で、今まで日が陰らなかったものが直接日が当たるようになるという意味の環境の変化が一番大きいと思いますが、1つの例としてはそういう意味でも記載しております。</p>
委員	<p>住民に対しての環境の大きな変化は想定できないということですか。</p>
学校整備課長	<p>今のはまさに、周りに住んでいる方々は形が変わるものですから、日当たりなども含めて環境が変わるという意味で記載しております。</p>
営繕課主査	<p>全体工期の差がどれぐらいあるかということですが、仮設校舎を造る場合、仮設校舎のボリュームにもよりますが、造るのに半年ぐらいの工期がかかりまして、その後に仮設校舎を解体するのにも3カ月ぐらいのボリュームがありますので、短くても半年、長ければ1年ぐらい、仮設があるものとないもので全体工期が変わってくるかと考えています。</p> <p>あとは既存校舎の解体が1回で解体するのか、部分的に解体して2回に分けるのか。校舎の位置によって解体の期間も変わってまいりますので、その辺につきましても検討しまして、次回の全体の想定の工期の中には含めてお示ししたいと思いますが、少なくとも半年、1年ぐらいは違うかと考えております。</p>
委員	<p>前のお二人が言ったような形で、CとDがいいと思っております。北側の、一般住宅の方々の、普段陰っている部分も日が入るのではないかとということで、日影の部分においてはC、Dがいいかなと私は思っております。</p> <p>仮設教室を造るに当たっていろいろな問題も出てくるとは思いますが、このC、</p>

	<p>Dでしたら仮設校舎を造らなくてもそのまま工事ができるということにおいては、非常によいと私は思っております。</p> <p>質問は前のお二人と全く同じになってしまうので、控えさせていただきます。以上です。</p>
委員	<p>私が見た感じ、高射砲台を残すことが言われていますが、この高射砲台は運動会などの保護者のギャラリーや、子どもたちが活動するときのスペースとして有効だと思っています。高射砲台を有効にするとできればAかBのほうが、校庭が残りますからよいと思います。</p> <p>あと、私の経験的に、南校舎で北側がグラウンドの小学校を経験したことがあります。冬になると日がかからないものですから、校庭が永久凍土のように固くなって、雪が降るとその後1、2週間校庭が使えない状態になってしまいます。もしそのようなことで北側に建てるのであれば、最近人工芝の校庭もありますので、そういう対応をしていかなければいけないと思っています。</p>
委員	<p>私も同じ意見で、北側の校舎ということと、高射砲台跡地の段が校舎に隠れてしまうところが、裏側では何か活用の仕方があるのでしょうかけれども、その辺が気になります。</p> <p>それから、子どもたちが通ってくる時に校門から入って校庭が見える校舎と、校舎の裏側から入る、今の中瀬中の北門の入り方というのでは、大分イメージが違うので、子どもたちから見てもBのように校庭が見えて、学校に入ってくる形の校舎が明るく開放的でいいというイメージがあります。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私も前のお二人がおっしゃったようにAとBで、高射砲台の跡地を活用できるほうがよいと思います。</p> <p>保護者でいたときも、体育祭のときにはそこからみんなで応援するということがありました。地教連や保護者の方からの意見でも、たしか高射砲台を残してほしいという意見が多かった気がします。</p> <p>あと、子どもたちにとっても校舎が変わってしまうと、卒業生の子たちも自分たちの面影がなくなってしまうのもあって、少しでも面影が残る学校にしてあげればいかなと個人的に感じているので、私としてはAかBがいいと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>工期というのはここ数年の話であって、80年先まで子どもたちと地域の方々が使いやすい学校を造るためには、多少の我慢は必要だと思います。一度大きいものを造ってしまうと80年間変えられませんので、子どもたちの生活のしやすさ、日影ができてしまうと校庭は使えませんし、雨や雪も乾きませんし、コケやカビといった問題も発生すると思います。また、校舎が早稲田通りに近いと授業中に音の問題も出てくると思いますので、今の南側の配置が一番いいと思います。</p> <p>北側の家への日影は、今は4階建ての校舎が建っておりますが、2階、3階</p>

	<p>になれば日影は確実に減りますので、むしろ良環境になると思っています。</p> <p>私はAの配置が一番いいと思っています。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私もAがいいと思っている1人です。初歩的な質問で、体育館と屋上プールとの関係ですが、その下に教室を入れることはできませんか。体育館とプールという形でしかできないのですか。</p>
営繕課主査	<p>建物の高さを抑えるという意味では、体育館が既に2.5層、2階半ぐらいの高さがあり、そこにさらにプールを乗せますので、それで3階ないし4階ぐらいの高さがあります。さらに教室を乗せるとなると、近隣もしくは校庭に対する日影にも影響しますので、さらに何かを積むということは、スタンダードではないと考えています。</p>
委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>結論としては、私はAを推します。</p> <p>私は学校支援本部から出ているので、学校支援本部のメンバーにはがきで聞き取りをしてみました。校舎の配置はどの案がいいと思うかと、その理由を聞きましたが、これが私の全ての意見というわけではありませんが、結論としてAを推したのが6人、それと私と前の委員の意見が合っています。支援本部長はまだ伺っていません。あとはBが3人で、Dが1人でした。</p> <p>Aを推した人は、北側の校舎を造ったときに校庭、校内の緑が広がって開放的な気持ちになる。それから、Aがいいと言ってくれた方のうち2人は、すぐ北側の家に住んでいる方ですが、あそこに校舎を造ってくれたほうが部活の声や音が直に騒音として入ってこないの、自分は北側に住んでいるがAがいいとおっしゃっていました。</p> <p>2人の卒業生にも聞きましたが、Aの配置が好ましい。校舎として気持ちがいいと言ってくれています。</p> <p>Bを推した人は、校庭が一番広いからいいのではないかとというのが理由でした。</p> <p>アンケートを聞いた方の中では、仮設の有無というより、さっき委員がおっしゃったように80年使う校舎を、どういい校舎に造っていくかのほうが本筋だと思うので、そちらを有効に考えてほしいという意見がありました。</p> <p>私自身の意見です。今言ったようにAを支持しますが、理由としては、1つは子どもたちの生活空間への配慮という視点からAを推したいと思います。というのは、自然の力を生かした心地よい環境、現在の中学生に校長先生がなされたアンケートだと思いますが、教室が一番好きと言ってくれる子どもが多かったと思います。</p> <p>教室は子どもたちにとって長い時間過ごす居場所なので、ホームルームの居心地がいいようにするためには日が当たるとか、自然の通風が確保できるという意味では、南北に風が通る、日が明るいAの配置がいいと思います。これは資料で頂いていた文科省の中学校施設整備方針の中でも書かれていることで、</p>

	<p>それがいいと思います。</p> <p>2020年6月、コロナの問題が出てからですが、建築学会で校舎の換気のことに関しての小論文が出まして、その中でも、今は割と機械換気のできるからという話がありますが、機械換気では換気が追いつかないこともありまして、災害のときは停電もあるので、自然換気が取れる教室のことを考えるのは大事だと思っています。</p> <p>この間資料としてお渡ししましたが、高円寺中の子どもたちとやった授業でも、自然の風や明かりを子どもたちは心地よいと感じているのでAを、マッシュブな感じのほかの案ではなく、南に面しているAを推したいと思います。</p> <p>それと、近隣の関係のことですが、さっき言ったように北側の方も日影は今より改善されてよくなるわけで、他の委員がおっしゃっていた音やほこりなど、あそこに校舎があることで北側へのそういう影響は軽減すると思います。</p> <p>関連の提案で、今後の検討になると思いますが、西側の道路が今は擁壁の下になっていてもったいないと、いつも私は感じています。私たちにとってはメインの道路ですが、あちら側からのアクセスを考えるのはいいと思います。</p> <p>早稲田通りは今第二次緊急道路になっていて、災害のときに区役所や病院、消防署などを結ぶ緊急車両が通る道路になるので、そこは別にもう1つ、西側の道路を避難所などにアクセスする道路というふうに使っていくと、地域の方たちにとっても防災の面でもいいし、今は擁壁ですが、あそこに景観として町並みができると、もしかしたら緑も植えられるかもしれない。歩道としても快適な道になるし、あそこから人が入れるのは地域にとってもいいかなと思っています。</p> <p>もともとあそこは斜面で、あそこまで斜面が行って行きました。現在の擁壁も、校舎、私はこの間裏を回って見たのですが、大分地盤が沈下している部分があって、校舎と下の地盤にすき間ができています。擁壁を造るというよりは、あそこを少し下の道路まで、西側の校舎や体育館などを下げていくと、全体の高さも下がっていくので、管理部門などを組ませる新たな計画も考えられる。そうすると、北側の校舎も少し全体のボリュームを小さくして、校庭をもう少し広げていくことも考えられなくはないのではないかと、工夫の余地が出てくると思います。</p>
委員	<p>私も中瀬中学校卒業で、我々のときは東校舎でした。今は削られています、ここに2階建ての木造校舎があった。このときは冬場になると日影で、校庭がぐちゃぐちゃになって使えないことが結構あった。日影というものを考えたとき、校庭というのは有効に使える形がいいと思います。</p> <p>もう1つは早稲田通り。幹線道路とは言えないまでも車の量は結構多いところですから、今後は変わるかもしれませんが、排気ガスや音の問題を考えたときには、あらゆる面で既存の校舎の形のほうがいいと、私は推奨したいと思っています。</p> <p>他の委員が言われましたように、中瀬中の場合は全国で銀賞までもらってい</p>

	<p>るビオトープがあり、そういう部分を大事にして、しかもビオトープ部というクラブまで生徒が作る環境もあることへの配慮が多少でもできれば、中瀬中はいい形で生徒たちを呼べるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>どの案になるにしろ、基本的に教室を日当たりのいい場所に置きたいとか、校庭の広さもきちんと取りたいという条件で幾つか作っていると思います。</p> <p>先ほど委員が言われましたように、私もありますが、校庭が北側になった場合、校舎で隠れる場合は本当に校庭は乾かない。雪が降ったときになかなか溶けない。中学校の場合は部活があるので、どうしてもすぐ使えないと困るという条件がある。</p> <p>それから、実際に子どもたちが生活するのに、教室の配置もこれから形ができてくれば決まるのでしょうけれども、グラウンドも150mのトラックは取れる状況で考えるとありますが、ただトラックが取ればいいわけではなくて、運動会などいろいろな形で使う場合に、トラック以前の周りの状況で子どもたちが入れる場所がどうしても、贅沢ですが必要です。</p> <p>そういうのも、トラックが校庭ぎりぎり校舎側に寄ってできたから、それでおしまいというのだと困るので、どの案がいいということではありませんが、幾つかの条件を出してみても最終的にこっちの場所に、もちろん近隣のいろいろな条件もあると思いますが、決めてほしいと考えています。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私はAかBが明るい感じがして、日影が少なくなるので、子どもたちの居心地がよくていいと思いました。</p> <p>校舎の配置が変わった場合、他の委員がおっしゃっていましたが、周辺に関して騒音の問題が発生し、声の通り方が変わると思います。日照権だけではなく音も結構問題になりますので、そこも考えて配置を考えるのがいいと思いました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私はAがいいと考えています。理由は、校庭は南側で日当たりがいいのがいいと考えていることと、教室からの眺めも開放的でいいと考えています。</p> <p>工事期間のことを考えると、工事期間中に通っている生徒にとっては工事期間が短いほうがいいと思いますが、費用の面でも仮設を建てないで済むほうがいいと思いますが、先ほどおっしゃっていた方もいらっしゃいますが、この先80年使う予定のものなので、ここ数年の工事や費用よりも、これから長い先のことを考えたほうがいいのかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私も最初拝見したときにAかBがいいと思いました。現在のクラブハウスや図書館周りは暗い感じがして、南を向いている教室とは全く風通しや明るさも違うので、Aのようにみんなが向いていたほうが明るさという面ではいいと思います。</p> <p>さっき中学校の前を通ってきました。確かに校庭の日当たりがいいのはとて</p>



	<p>もいいことだと思っていますが、この季節なので全く日影がなくて、今日みたいな暑くて天気のいいときに休める場所が体育の時間などにあると、もうちょっと違うのかなと思いました。今も多少木はありますが、休める空間みたいなものも校庭にあると、今後の夏の過ごし方としてはさわやかな感じになっていかなと思いました。</p> <p>あと素人なので分かりませんが、Dだけ中庭があるのは何か意図があるのでしょうか。</p>
営繕課主査	<p>あえて変えたというよりは採光です。各教室が、完全に外部に何も面していないのは採光・通風の観点からでは難しく、もしDで中庭がないと、大きなボリュームになってしまっていて内部の面に関して採光・通風が難しくなってしまうので、一般的には中庭を設けて、その辺を確保したいということで、あくまでも一案として出していますので、次回以降の計画で中庭が必要かどうかについて検討した上で、改めてお示ししたいと思っています。</p>
進行役	<p>今日欠席の方のご意見を頂いているということですが、よろしいですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>本日ご欠席の委員から事前に意見を頂きまして、今後の検討項目①から⑥の中で、改築基本方針の取組の実現で、ハード面のボトルネックになることがないという視点もあるとよいとのご意見がございました。</p> <p>これにつきましては、第4回以降の具体的な配置の検討の中で平面プランも併せてご提示いたします。そういう中では、検討項目⑥「その他」の中で、そういった視点も併せて検討したいと考えております。</p> <p>欠席の委員からのご意見につきましては、以上になります。</p>
委員	<p>皆様のご意見を伺って、私も自分の経験を思い出しながら聞いていました。</p> <p>Cは小学校の校長先生がおっしゃいましたが、実際に使うとなると特に冬場の課題がすごく大きくて、どうかなと感じます。</p> <p>それからトラックが150mということで直線が50mと書いていますが、この直線はトラックに斜めに渡している四角のところが50mということですか。こうやって見ると、中学校だからせめて100mとは言わないまでも、直線で80mぐらい取れるグラウンドが欲しいと思いつつ見していました。</p> <p>80mぐらい取れるとなればA、B、Cぐらいが取れると思いつつ見ましたが、トラックは1つの基準で150mで引いていますが、取り方によってはもう少し伸ばすことは可能かなと思います。</p> <p>いずれにしても、Aのように教室等からグラウンドが見られて、子どもたちが活動している場面を見られる状況のほうが良いと思います。</p> <p>併せて体育館も、体育の授業だけをやっているように思いますが、実は学年集会や学校行事、あるいは全校朝礼などの場面でたくさん使うところです。そういうことを考えると、体育館がいろいろな場所からすぐ見通せる、この前の松溪中学校の体育館はそんな感じでした。通りがかりにやっている場面、部活動や学年の行事等が、わざわざ体育館の重いドアを開けて入らなくても見ることができる。そういう体育館のあり方も私はいいと思っていますが、そういう</p>

	<p>ことからするとBもなかなか捨てがたい感じもします。</p> <p>Dになってくると、校舎の西側にどうい教室が入るのかとか、いろいろな課題があると思います。</p> <p>そういうことを考えると、私もAないしBぐらいがいいと感じています。</p> <p>全く個人的な考えですみません。以上です。</p>
委員	<p>今回は全体の計画の中の、校庭の置き方についての検討過程をご紹介いただいたので、ここでどれが一番いいということではないと思います。</p> <p>ただ、この配置を考える上で4つのコメントがあります。</p> <p>最初は災害時の対応。災害時にここが避難場所になったときに仮設トイレをどこに置くとか、避難者の動線をどうするとか、そういうことを最初の配置の段階で考えておく必要があると思います。それを加えていただきたい。</p> <p>地域開放もそうで、地域の方たちが使いやすい学校にしていくという目標がありますので、その動線や、どこまで開放するか。それと安全性は表裏一体なので、そのあたりを配置のときに一緒に考えていただきたいのが1つ目のコメントです。</p> <p>2つ目のコメントは、今羅列されているメリットとデメリットが比較しづらいので、A B C Dの一覧表で、最終的にはおまとめになると思いますが、見やすい形で出させていただくのがいいかなと思います。</p> <p>3つ目のコメントは、今はブロックでしか分かりません。これからの検討になってくるとと思いますが、お話の中にもあった採光・通風がどう取れるのかが重要なので、教室、特別教室、生徒の居場所、図書室など重要なところがどう配置され、それらにどうい採光・通風ができるのかというのを次回、ぜひ分かりやすく見せていただきたい。</p> <p>採光・通風に関しては、南面一列の教室配置が必ずしも一番すぐれた解というわけでもないと思います。近年の学校の教室では、採光が両側からある二面採光という例もあります。それは必ずしも南に向いていませんが、2つ窓がありますから風は通ります。</p> <p>今は南側に窓があるけれども、北側に風が抜けて行くものがなければ抜けませんので、必ずしも南面の一列配置が採光・通風にすぐれた解というわけでもない。もし可能であれば、そういう事例も紹介いただきながら、次回のプランと一緒に説明していただきたいと思います。</p> <p>4つ目は、今回このパースを見せていただいて、配置を理解するのは非常によく分かりましたが、これは多分ソフトで視点を変えられるので、例えば道路から校舎はどう見えるのかというパースを出していただくと、北側の住宅の人たちにどう影響があるのか。今の校舎がこういうふうになる、高さが変わってこんなふうに見えるというパースも見てみたい。</p> <p>それから、例えば早稲田通りに教室が並んだとき、どういふうに見えるのかもパースでできますよね。そうしていただくと周辺環境への影響が景観上どう変わるのかを見せていただくと、すごく分かりやすくなってくると思います</p>

	<p>ので、そういうことを総合的に検討できる資料を、ぜひ次回見せていただきたいと思いました。</p>
進行役	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>私から1つだけ。皆さんが言われなかったことで、CとDは、多分校庭とひな壇、高射砲台の差がかなりあります。だからひな壇の上から校庭を見下ろせますが、立体的に考えると、東側の道路からすると地下1階のような感じに校庭部分が非常に下がっているのはどうするのか。校庭に盛り土をして少し高く上げるのか、1階の日当たりはいろいろな意味でかなり苦しいと思います。</p> <p>もちろん校庭が広いのに越したことはないと思いますが、これはA B C Dで決まっているわけではなく、これはあくまでも校庭の配置です。例えば松溪中の場合ではA 1、A 2というAの中で、3階の新校舎の部分を減らしてBと折衷案にするとかいろいろな案が考えられると思いますが、それは専門家の設計士にお任せしたいと思います。</p> <p>今回はこのいろいろな、ここで出てきたことを決めて、これに沿ってそれぞれの校舎配置でアセスメントしていくという作業になっていくと思います。漠然としているのではなく、先ほどありましたが、1個1個きちんと見て行かないと、80年先までのことですから、ここでしっかりやらないで流してしまうと後悔しても取り戻しはききませんので、できることをしっかりやる。</p> <p>ただ、事務局の方も言われていますが、予算の問題があるので、全ての夢がかなうわけではありません。それもよく分かっていますが、できるだけやれることはやっていくということになると思います。</p> <p>学校整備課長から補足をお願いいたします。</p>
学校整備課長	<p>いろいろとご意見を頂きました。今日皆さんからご意見を頂く前にも触れたとおりこれは案ではなくて、まず東西南北に校庭・校舎を置いてみて、どんな特徴があるのか、どんな課題があるのかを見て改めて、先ほど校長先生が言われたような、これは上から見た図ですので、横から見たら、道路から見たらとか、あるいは北側から見たら、いろいろな視点が出てきたと思っています。今日はこれを案ということで決めるわけではなくて、そういう特徴・課題を認識していただければと思っています。</p> <p>仮設校舎のことで若干補足しますと、工期については先ほどお話しさせていただきましたので触れませんが、金額も次回改めて出せればと考えていますが、今の仮設は昔の工事現場のプレハブと違って空調設備もあり、周りから見た美観、ある程度機能も備えたものということで、現実問題としても昔よりも非常に高いものになっております。事業費のお話もしていただきましたが、今日はお金のことも全然出ていけませんので、そういうところも含めて検討できればと思っています。</p> <p>周辺環境の話もありましたが、確かに日が当たることでプラスと考える部分もあって、変わることによるマイナスの部分もある。高さが変わるのは図面だけでは分からないところもありますので、そういうところも含めて、両方それ</p>

	<p>ぞれにメリット、デメリットがあると思いますので、そのところを考えていければ。実際に先ほど松溪中の例もご紹介しましたが、植栽など工夫をして軽減したところもありますので、そういうことも考えていければと思います。</p> <p>校舎配置については、今日は特徴と課題の説明をしましたが、今後はいろいろな視点を加えて、次回以降案を出して、少しずつ深掘りしていければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>私からの補足は以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務連絡をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>本日はありがとうございました。何点か事務連絡をいたします。</p> <p>1点目ですが、次回第4回懇談会の日程についてになります。次回の日時は10月20日火曜日の午後2時から、場所は本日と同じ井草地域区民センターの第1・第2会議室となっております。開催通知につきましては、改めて送付いたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>2点目は、本日の議事録については第1回の懇談会でもお伝えしましたように、1カ月程度をめでに議事録案を作成いたしますので、皆様ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>3つ目は、冒頭でもお話ししましたように既存校舎の周辺模型図を入りに用意しています。施設見学を行った井草中と松溪中の校舎も用意していますので、もし最初に見られていない方は帰りがけに見ていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、本日お配りしましたペットボトルはお持ち帰りいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務連絡は以上になります。</p>
進行役	<p>それでは、学校整備担当部長、お願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>大変長い時間ありがとうございました。</p> <p>今日は、前半と後半で全く色合いの違う会議になった。前半は短かったのですが、たたき台修正案についての議論をさせていただきました。後半、校舎配置ごとの特徴と課題ということで、これはまだ必ずしも案ではなく、今回中瀬中を造り変えるに当たっては、例えばこのたたき台を実現させるために、隣地を買って校地を広げることはほぼないので、その中で実際に必要な校舎の面積を踏まえて、置いてみると大体こういう形になるというのでお示したつもりでしたが、私も始まる前に予想していましたが、やはりこういう議論になりますよね。Aがいい、Bがいい、Cがいい、Dは駄目とか、どうしてもそういう話になってしまう。</p> <p>そういう話は、先ほど技術部門の課長も申し上げましたとおり、さまざまな課題、それを今、委員がおっしゃっていただいたように、表にして分かりやすくメリットやデメリットをまとめるとか、いろいろなまとめ方があるので、改めて御覧いただきながらいろいろと、どの案にもよさがあり、どの案にもデメ</p>

	<p>リットはあると思います。そういったことを、もう少し多角的に議論しながら、もう一度皆さんのお知恵を拝借したいと思っています。</p> <p>今日の前半で我々が作った評価の物差しはこれです。ぜひこれをもう一度家に帰って御覧いただいて、もし意見があればおっしゃっていただきたいと思います。物差しという視点であればさまざまな物差しがあって、先ほど校長先生がおっしゃったように予算上の物差しはあります。幾らでもお金をかけていいというわけではありません。これは私ども教育委員会もそうですし、行政側が考えなければならない1つの物差しでもあります。</p> <p>それから工期も、1つの物差しとして私はあると思います。特に在校生、工事にぶつかった子どもたちのことも考えなければいけない。特に中学校は3年しかありませんから、そういった視点も1つの物差しとして、これからメリットとデメリットを皆様にお示しする中で、具体的にしなければいけないことなのかなということもございます。</p> <p>こういったさまざまな物差しをもう一度当てていただいて、改めてこの議論を進めていきたいと思っています。</p> <p>私からは以上でございます。ありがとうございました。</p>
進行役	<p>それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございました。</p>